

## 教育 おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会 ☎476-1111(410)

### ◆平成 27 年度大崎町図書館祭りが開催されました

10月18日（日）に、町立図書館1階親子読書コーナーにて、『図書館祭り』が開催されました。

図書館職員による読み聞かせやエプロンシアターのほか、大崎小学校読み聞かせボランティアグループや菱田小学校ボランティアグループ、野方小学校文化部の皆さんによる大型絵本の読み聞かせやパネルシアター、紙芝居などいろいろな出し物が披露されました。

図書館祭りに参加した80名あまりの園児・児童、その保護者は、一つひとつの出し物が終わるたびに大きな拍手を送っていました。また、最後にはじゃんけん大会、さらに『MUZEよめじょ会』の手作りのクッキーと図書館職員手作りの小物のプレゼントがありました。

町立図書館の中村館長は「子どもの読書は言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするもの。家庭でも親子で20分読書を進めてほしい。」と参加した保護者の方々に家庭での親子読書の推進について話されました。



## 僕の夢 私の夢

### 『将来の夢』

No.15 大崎中学校 2年 川崎 泰斗

僕の夢は保育士になることです。その根拠は2つあります。

1つ目の根拠は、僕が保育園児のときに起きたことからです。ある日、僕は外で遊んでいる時に木の根につまずいて足のひざに大けがをしてみました。とても痛くて泣いている時に男性の保育士の先生が優しく接して、手当をしてくださったのです。当時は何も思わなかったのですが、今思うととてもいい先生だなと思いました。その先生はとても優しくてかっこいい、体育の先生でした。保育園児のみんなから、「先生遊ば。」といつも言われていました。僕もそのような優しくて、保育園児のみんなから頼られる先生になりたいと思いました。

もう1つの根拠は、保育士の先生みんながどんな子にも優しく接しているところを見たことです。僕の通っていた保育園には1人だけ少し変わった男の子がいました。とてもわがままで、自分の気に入らないことがあるとすぐに暴れます。僕はその男の子に対して、少し嫌だなという思いが正直ありました。しかし、保育士の先生方は、その子に対して暴れていても、「大丈夫だよ。なにかあったの。」と優しく接していました。僕はすごいなと思いつつ、自分のいけないところを知ることができました。誰であろうと人を軽べつしてはいけない、これは人が生きるうえで当たり前のことだと思います。僕は保育士になるためにこのことは絶対にしないようにします。

どんなにつらいことがあっても負けない、保育士になりたいです。不安はたくさんありますが、自分なら絶対に大丈夫という気持ちでいます。いつか保育士になって素敵な先生になりたいです。